

■ 景観形成基準チェックシート(一般景観地域・農山漁村景観地区)

(対象：工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更)

- ・記載にあたっては、太枠部分のみに記入して下さい。
- ・項目欄の「具体的な配慮又は工夫の内容」について記載する場合、印の内容については必ず記載して下さい。

届出者の氏名	
行為の場所	
周辺景観の特性	
地域の景観形成の方向	

項目	規制の視点	景観形成基準	配慮事項	具体的な配慮又は工夫の内容	適否 (記入不要)	意見 (記入不要)
位置・ 高さ	位置	主要な道路（国県道）の境界から5m以上後退した位置にするよう努める。（擁壁、さく、塀、自動販売機その他これらに類するものを除く。）	道路境界からの後退距離が確保されるよう配慮しているか。	<input type="checkbox"/> 後退距離＝ m	適・否	
	高さ	道路等の公共空間から見て、周辺の山並みのりょう線を切らないような高さとするよう努める。	良好な山並みへの景観の確保のため、工作物の位置及び規模に配慮しているか。		適・否	

形態 意匠	周囲との調和	周辺地域のまち並みや景観と調和した形態意匠とするよう努めること。 擁壁にあつては、分節化や陰影処理等を行うことにより、単調な平滑面とならないよう努める。	周辺の景観との調和に配慮しているか。	□周辺景観の特徴：	適・否	
			単調な平滑面とならないよう配慮しているか。			
	色彩 推奨色	純色等*は用いず、周辺景観と調和するよう努める。(自動販売機を除く。) *純色等…マンセル表色系(JIS Z 8721)において、各色相の最も彩度の高い色及び彩度10以上の色をいう。以下同じ。	純色等を用いていないか。	□使用色：	適・否	
			周辺景観との調和に配慮しているか。			
素材	経年変化	外装材に使用する素材は、できる限り経年変化による質の低下の少ない素材を用いる。	汚れや老朽化が目立たないような素材を用いるよう配慮しているか。	□外装使用素材：	適・否	
敷地	緑化	敷地内はできる限り緑化し、既存の樹木がある場合は、保存と活用に努める。	既存樹木の活用、保存を含めた敷地内の緑化に配慮しているか。	□既存樹木の有無： □緑化方法：	適・否	
その他	照明	屋外照明を設置する場合は、光源の種類、位置、光量及び配光特性に配慮し、過剰な光が周囲に散乱しないよう努める。	過度な照明とならないよう配慮しているか。		適・否	
	自動販売機	屋外に設置する自動販売機は、位置や外観の色彩の検討や、被覆等により、周辺景観と調和するよう努める。	周辺景観と調和するよう配慮しているか。		適・否	

<p>太陽光発電設備</p>	<p>設置にあたっては、周辺の自然環境や眺望等の景観に配慮するよう努める。 (1)主要な眺望点や道路、敷地境界等から目立たないよう、設備の配置位置や植栽等を工夫する。 (2)高低差のある敷地の場合、最上部の高さが周囲の景観から突出しないように努める。 (3)フレームや設備機器等の色彩は周囲の環境と調和するよう努める。</p>	<p>周辺の自然環境や眺望等に配慮した計画になっているか。</p>		<p>適・否</p>	
<p>取組の中で特筆すべき点</p>	<p>(良好な景観形成に向け特に取り組まれた事項がある場合は記入ください。)</p>				